

「これからの時代を拓く 学校創り」

～子供も大人もワクワクする 授業・環境創りを通して～

令和 8 年 5 月 7 日
台東区立上野小学校
校長 田 中 康 雄

令和8年度のグランドデザイン

令和8年度 台東区立上野小学校
“Team上野小”グランドデザイン
令和8年4月1日

我が国の動向 → 高次の資質・能力の育成、次期学習指導要領の“姿”
・ Society5.0 ・ 次期教育課程 ・ Next GIGA ・ 令和答申
・ 働き方改革 ・ 第4期教育振興基本計画 等

国際的な動向 → 持続可能な地球・社会づくり
・ SDGs ・ Well-being ・ DX
・ OECD Learning Compass 2030
・ OECD Teaching Compass

児童の学びと
教師の学びは
相似形

本年度の研究

面倒見のいい
学校に!!

上野小
Pride!!

「できた→やりたい→がんばろう」
(自己有用感→積極性→責任感)のサイクルを!!

本物志向 未来志向

「私たちができます!!」、「学校を変えるのは
私たち」、「上野小で学んでよかった!!」...

学びを自らデザインする

自分事で問題解決に取り組む

実現すべき
教育目標

愛

自他を尊重し、思いやりの心、
地域を愛する心を身に付けて
いる子

学

自ら学び、思考・判断・表現する力
を身に付けている子【重点目標】

健

体力づくりに励み、自らの
健康について考える力を
身に付けている子

自分が好き 友達が好き 町が好きな上野の子

目指すべき姿

児童
★幸せに生き、よりよい社会創りに参画する
◎たくましく生きる
●多様な人々と協働し、
納得解を生み出す
◎しなやかに生きる
●自他のよさを認め、
尊重する

教職員
◎「学び」を促し、
育ちを支援する
●適切に指導し、
育てる
◎探究心をもって学び続け、
高めた専門性を生かす
●社会人・組織人として、
適切に協働する

学校
◎地域の教育風土向上の拠点となる
●全ての児童・教職員の可能性や潜在
能力を見だし、資質を極限まで
磨き、能力を最大に伸ばす場となる

教育活動推進
の基本方針

究極の目的 Well-being

目的 児童一人一人の
資質・能力の最大化

手段 アタマ・ココロ・カラダを
フル回転させる良質な学び
【教育活動の基本理念】

教師による指導

知識・技能
思考力・判断力・表現力等
学びに向かう力・人間性等
児童の自己調整による学び
【目的と手段の関係性のイメージ】

離
破
守

【3学期】/【高学年】自分で踏み出す時期
「自分で、できる」責任感を培う **がんばろう**
【2学期】/【中学年】挑戦し、振る時期
「きっと、できる」積極性を培う **やりたい**
【1学期】/【低学年】自信・信頼を確立する時期
「やれば、できる」自己有用感を培う **できた**
【目指すべき学校生活像：守・破・離で考える】

離
破
守

【高学年】技を自ら選ぶ
目的に応じた学習技能等の自己選択
【中学年】技を広げる
多様な学習技能等の経験
【低学年】技をもつ
基礎・基本となる学習技能等の獲得
【もつべき意識：守・破・離で考える】

成果公表／取組発表

目指すべき
主な方向性
と基本方針

Authentic：真正・本物志向

Balance：調和・均衡

Compliance：法令等遵守

Future-oriented：未来志向

Enthusiastic：熱中

Grit：やり抜く

Digital：デジタル活用

2040年以降の公立小学校を展望し、持続可能な学校創りに向け、全ての教育活動を問い直し、再定義・再構築する

台東区立上野小学校

学校を支える
資源

人格形成

保護者（保護者から見て…「面倒見のいい学校」）

協働・参画

文化資本

地域（地域から見て…「自慢の学校」）

安全・安心

条件整備

台東区・台東区教育委員会等（行政から見て…「範となる学校」）

指導・支援

取組の方向性…「守・破・離」で考える

究極の目的

Well-being

目的

児童一人一人の
資質・能力の最大化

手段

アタマ・ココロ・カラダを
フル回転させる良質な学び

教育活動の基本理念

教師による指導

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

児童の自己調整による学び

目的と手段の関係イメージ

離

【3学期】/【高学年】自分で踏み出す時期
「自分の力でがんばろう」責任感を培う

がんばろう

破

【2学期】/【中学年】挑戦し、広げる時期
「きっと、できる」積極性を培う

やりたい

守

【1学期】/【低学年】自信・信頼を確立する時期
「やれば、できる」自己有用感を培う

できた

【目指すべき学校生活像：守・破・離で考える】

離

【高学年】技を自ら選ぶ
目的に応じた学習技能等の自己選択

破

【中学年】技を広げる
多様な学習技能等の経験

守

【低学年】技をもつ
基盤・基本となる学習技能等の獲得

【もつべき意識：守・破・離で考える】

離

【高】第三形態
構造化・熟達化

破

【中】第二形態
リンクの強化

守

【低】第一形態
ノードの強化

【育成：守・破・離で考える】

I-1 本年度の本校の研究①

**「TAITOフューチャースクール」検討委員会
モデル校（台東区教育委員会指定）**

**★一人一人が学びの主役として活躍し、自分や世界
を変革していく学びを実現する**

➡高橋純先生に御指導いただく予定（3回）

➡令和9年2月22日に**成果報告会**を実施予定

I-2 本年度の本校の研究②

**「デジタルを活用したこれからの学び推進地区」
実践校（東京都教育委員会指定）**

**★デジタルを活用したこれからの学びについて、
任意の3教科以上に関する実践を行う**

**➡研究授業を7回実施、参観者との協議により
深めつつ事例開発を行う**

Ⅱ-1 研究の方法 授業公開日程

授業公開	日にち	曜日	学年	教科等	
授業公開①	4月24日	金	4年1組 6年2組	国語 社会	*研究のキックオフとして実施します。
授業公開②	11月11日	水	全学級	(連携の日)	
研究授業	日にち	曜日	学年	教科等	
研究授業①	5月20日	水	4年生	算数	*講師は呼びいたしません。研究授業で見られた児童の学びの状況を基に、参観者で協議し、理解を深めることを大切に実施します。
研究授業②	6月24日	水	3年生	総合	
研究授業③	7月15日	水	5年生	未定	
研究授業④	9月16日	水	6年生	未定	
研究授業⑤	10月21日	水	2年生	未定	
研究授業⑥	11月18日	水	1年生	生活	
講師招聘	日にち	曜日	学年	教科等	
講師招聘①	4月28日	火	1年生除く全学級	(東京学芸大学 高橋純教授来校)	
講師招聘②	9月24日	木	全学級	(東京学芸大学 高橋純教授来校)	
講師招聘③	12月15日	火	全学級	(東京学芸大学 高橋純教授来校)	
講師招聘④	2月22日	月	全学級の予定	(成果報告会・高橋純教授及び東京理科大学 垣野義典教授来校)	

Ⅱ-2 研究の方法 GWSの活用

①「ゆびとま」研究全体会① 4月6日

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 ツール 拡張機能 ヘルプ

100% 標準テキ... Arial 12 B I U A

4月6日研究全体会①

このゆびとまれ
~都にも 区にも~

14:30~ なかよし広場で
低・中・高・専でお座りください

☆本日の流れ☆

- ★校長先生から
- ★今年度の研究について
- ★ざっく話タイム
- ★倉澤先生から
- ★副校長先生から

☆本日のゴール☆

- ⊕年間スケジュールを決める！
- ⊕ブースのテーマを決める！

1 今年度の研究について

【区】TAITOフューチャースクール事業・モデル校
令和6年度から3年間（今年度3年目）
コンセプト 一人一人が学びの主役として活躍し、自分や世界を変革していく学びを実現する

➡児童の学びと教師
の学びは相似形

➡生産性向上×
在校等時間削減に

Ⅱ-3 研究の内容 2/22成果報告会

◎上野フェス（研究発表）当日

【タイムスケジュール案】

12:45～13:00	受付
13:00～13:30	全体会 研究概要説明（授業を見るための視点）
13:35～14:20	授業公開 もしかしたら同時時間帯に駒形中も授業公開？
14:40～15:40	上野フェス（15分×3ターン）
15:45～16:30	指導講評 講演 パネルディスカッション

「さあ！自分のブースを決めましょう！！」

- ・自分の研究を深め、広げるテーマは？
- ・全校で（段階別で）実施できそうな取組できるようにするための何か。

📌 先生トリセツ

●研究発表会に向けて

【ふえすブース案一覧】

- ①校内研究・研修のもちかた ワクワク感
A4指導案（学習プラン） けんすい ざっく場 ゆびとま研 ゆびとまRADIO
学び場 チャット実況中継 児童注目 swot分析 LMまとめ
- ②エージェンシー：自治 自己変革 （特別活動・プロジェクト活動等）
変化を起こすために、自ら目標を設定し、振り返り、能力の育成
- ③グーグル活用 校務DX
議事録（LMくん） チャット カレンダー

➡ヨコ展開のために
パッケージ化を

➡指導の“モノサシ”
を明らかに

➡育ちの“モノサシ”
を明らかに